地震が起きたら落ち着いて行動しましょう

地震はいつ発生するか分からない災害です。普段から少しでも被害を抑えられるように地震に備えておきましょう。

〈もし地震が起きたら〉

慌てずに次のことに注意しましょう。

・身の安全を確保する。
・素早く火の始末をする。
・非常脱出口を確保する。
・火が出たらできる限り消火する。
・外へ逃げるときは慌てない。

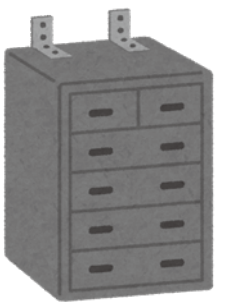
〈シェイクアウト運動の実践〉

3つの安全行動

・タンスなどの大きな家具はL字金具や支え棒を使用し、倒れにくくなるようにしましょう。
・安全に避難できるように、出入口や通路には物を置かないようにしましょう。

▼家具の転倒を防ぐポイント

・タンス＝L字金具や支え棒で固定。二段重ねの場合はつなぎ目を金具で固定する。
・冷蔵庫＝後ろの上部に転倒防止ベルトの取り付け箇所があれば、ベルトを通して壁に固定する。無ければ、扉と扉の間に針金を巻いて金具で壁に固定する。



〈家の中の安全対策〉

地震が起きたとき、家具の転倒や落下、ガラスの飛散により思わぬけがをする可能性があります。次のことに注意しましょう。

・寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には大きな家具は置かないようにしましょう。
・食器棚＝L字金具や支え棒で固定し、重い食器は下に、軽い食器は上に収納し、戸が開かないように止め金を付ける。また、ガラス部分に飛散防止フィルムを貼る。
・テレビ＝テレビをテレビ台に固定する粘着マットやテレビを壁に固定するベルトを利用する。

〈家の周囲の安全対策〉

植木鉢の落下やブロック塀の倒壊による被害を防ぐため次のことに注意しましょう。

・屋根＝屋根瓦やアンテナの補強をする。
・窓ガラス＝飛散防止フィルムを貼る。
・ベランダ＝植木鉢などを落ちる危険がある場所に置かない。
・ガスボンベ＝ボンベを鎖で固定する。
・ブロック塀・門柱＝基礎や鉄筋が無い場合は補強し、ひび割れが無いか確認する。

問安全対策課消防防災班
☎0475（70）0303

災害に備えて家庭で備蓄品を準備しましょう

地震や台風などの大規模災害によるライフラインの停止や長期間の避難所生活を余儀なくされ、物資の供給が停止したときは、物資が不足する恐れがあります。市の備蓄数には限りがあります。一人ひとりが自身に必要な物、食料や水を蓄えておくことが減災の一環となります。日ごろから意識して防災物資の備蓄をお願いします。

必要となる備品は時間経過や被災状況により異なり、大きく分けて次の3つとなります。

◇常時携行品

財布や携帯電話、キャッシュカード、免許証など普段持ち歩く貴重品に加えて、携帯ラジオ、携帯電話の充電器

◇非常持出品

備蓄品の一部とし、2泊3日程度の避難生活に必要な非常食や飲料水を選び、持病薬やアレルギー対応食など命を守るために必要な物を優先する。普段からリュックサックに入れることで、避難するときに両手が使えます。

◇備蓄品

食料や水は最低3日、できれば1週間以上備蓄する。蓄える食品はレトルト食品や缶詰、カップ麺とする。水は大人1日当たり3リットルが目安。水の配給を受けるためのポリ容器も必要です。また下着や着替えも用意しましょう。

〈停電時に特に必要な備品〉

懐中電灯、ランタン、携帯ラジオ、卓上コンロ、乾電池、発電機（発電機は屋内では絶対に使用せず、屋外で換気が必ずできる場所で使用してください）。

〈断水時に特に必要な備品〉

飲料水、給水用ポリ容器、携帯トイレ、簡易トイレ

ポリ容器には普段から水を貯めておき、生活用水としても使用する。

〈冬期の避難所における防寒に必要な備品〉

カイロ、マフラー、手袋、ダウンジャケットなどの上着、毛布、アルミシート、アルミブランケット

〈ローリングストック法の実践〉

備蓄する食品として、災害用保存食だけでなく、普段から食べているインスタント食品、缶詰、レトルト食品を最初に多めに購入し、消費期限の短いものから定期的に消費し、食べた分だけ補充することを繰り返す方法です。これにより、消費期限切れを防ぎ、普段から食べ慣れた食品を災害時に食べることができ、災害によるストレスの軽減にもつながります。詳細はチェックリストをご覧ください。

▲チェックリスト

問安全対策課消防防災班
☎0475（70）0303

消防出初式表彰

広報1月号でお知らせした消防出初式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

なお、各被表彰者は、次のとおりです。

◇被表彰者（敬称略）

〈千葉県知事表彰〉
▶功労章
浅岡勉、後藤和明
▶精勤章
石田克典、岩瀬栄一、高橋正己、久保崇、長谷川敏之、麻生和仁、足立隆史、錦織宏光、内山芳浩、青木宏憲

〈防災危機管理部長表彰〉
花澤茂雄、中村美夫、足立典繁、山田良人、恒吉雅行、島田裕一郎、上代喜代和、櫻井健人、花澤冴俊、古山将也

〈千葉県消防協会長表彰〉
▶功労章
中村成秀
▶精勤章
糸日谷学、山下正登、清宮良仁、飯髙力、内山貴紀、小川将史

〈千葉県消防協会山武支部長表彰〉
▶功労章
山田正光、板倉裕一郎
▶精勤章
中村雅企、石渡辰弥、米澤峻、三上訓永、宇澤亮、大貫眞歩

〈市長表彰〉
杉田智勇、山本直人、大塚太郎、内山憲吾、齋藤優汰、長嶺直季、河野智範、石田健一郎、飯倉秀樹、加藤年展、清宮和也

〈無火災表彰〉（5年間）
第2分団第3班

〈団長表彰〉
小倉順也、齋藤優生、内山翔平、青木俊樹、佐々木悠利、吹上孝広、岸本陽一、小倉正宏、中山典之

〈内助の功感謝状〉
浅岡真理子（第4分団分団長夫人）

〈令和元年度退団者感謝状〉
北田宏彦　他22人

全国瞬時警報システム（Jアラート）の伝達訓練を実施します

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、緊急情報を国から人工衛星などを通じて瞬時に伝える、全国瞬時警報システム（Jアラート）を用いた訓練を実施します。

市内に設置してある防災行政無線および戸別受信機から、最大音量で一斉に放送されますので、災害と間違えないようご注意ください。

▶訓練日時＝2月17日㈬11時
▶放送内容
・上りチャイム音
・「これは、Jアラートのテストです」×3
・「こちらは防災大網白里です」
・下りチャイム音

問安全対策課消防防災班
☎0475（70）0303

安全安心コーナー

東金警察署管内安全安心キャラクター「とうがめくん」

猟銃用火薬類の適正な措置

今年度の狩猟期間は、2月15日㈪までです。

実包などを消費せず自宅に置いたままにしていませんか。実包の紛失、盗難被害につながりかねないことから、残火薬類は消費、譲渡、廃棄する等適切に措置してください。

※銃砲刀剣類所持等取締法では、「銃砲を保管するに当たっては、同一建物内に適合する実包等を保管しないように努めなければならない」ことや「実包等の措置状況（譲受、譲渡、消費、廃棄等）については、確実に帳簿記載しなければならない」ことが規定されています。

〈残火薬の措置方法〉
・射撃場で射的練習をして消費する。
・銃砲店などへ譲渡する。
※「譲渡の許可」が必要となります。
・（一社）日本火薬銃砲商組合連合会加盟の銃砲店に廃棄を依頼する。
※「譲渡の許可」は不要ですが、廃棄のための料金がかかります。

問東金警察署生活安全課
☎0475(54)0110
千葉県警察本部風俗保安課
☎043（201）0110

●今月の移動交番開設日

開設場所	開設予定日	開設時間
セブンイレブン季美の森店	8日㈪	10時～11時30分
	19日㈮	14時～15時
ケーヨーD2大網永田店	8日㈪	10時～11時30分
	22日㈪	10時～11時30分
主婦の店大網店	3日㈬	10時～11時30分
	16日㈫	10時～11時30分
農村環境改善センターいずみの里	2日㈫	14時～15時
	12日㈮	14時～15時
みどりが丘自治会館	10日㈬	10時～11時30分
	24日㈬	10時～11時30分
ショッピングセンターアミリィ	10日㈬	10時～11時30分
	25日㈭	10時～11時30分
大網白里市役所	1日㈪	10時～11時30分
市立大網病院	2日㈫	10時～11時30分

●合同パトロール予定

集合場所	実　施　日	集合時間
増穂小学校	17日㈬	15時
季美の森小学校	18日㈭	14時20分